政界人脈

# 《東ティモール》11番目のＡＳＥＡＮ加盟国
# シャナナ・グスマン内閣の閣僚：プロフィール(上)

昨年(2025年)10月の東南アジア諸国連合(ASEAN)首脳会議で、東ティモールが2011年の加盟申請から14年の時を経てついに11番目の加盟国として承認された。独立闘争の英雄であるラモスホルタ大統領とグスマン首相の長年の悲願が達成されたことになる。日本は東ティモールには、2002年の独立以来、国家建設と復興の主要な支援国として、自衛隊の派遣(国連PKO活動)や経済支援を通じて包括的な友好関係を築いてきた。新年号では、経済発展と地域統合への期待が高まるこの新しいASEAN加盟国の運営を担うグスマン内閣(第9次憲政内閣)の閣僚たちを紹介する。

〔国家元首〕

＊2022年5月20日就任

**●大統領 President**

**ジョゼ・ラモスホルタ Jose Ramos-Horta**



東ティモール第2代大統領と第3代首相を歴任し、2022年5月から第5代大統領(現職：国家統一の象徴として儀礼的な役割を担う)。1970年代半ばから東ティモールの独立運動に参画し、主に外交面で多大な貢献を果たした。2002年に、独立した東ティモールの初代外相を務めた。シャナナ・グスマン首相が党首を務める与党第1党「東ティモール再建国民会議(CNRT)」に所属。

＊1996年に「東ティモール紛争での非暴力と対話による平和的な解決に向けた努力」が評価されカルロス・フィリペ・シメネス・ベロ(Carlos Filipe Ximenes Belo)東ティモール司教(当時)とともにノーベル平和賞を受賞。

＊第2代大統領当時の2008年2月11日に反乱軍の暗殺計画により銃撃され重傷を負った。豪ロイヤル・ダーウィン病院で何度もの手術を受け回復。

＊母語のテトゥン語とポルトガル語に加え、英語、フランス語、スペイン語の5カ国語を流暢に話す。

＊1970年代に、アナ・ペソア・ピント(Ana Pessoa Pinto)氏(元法相・元検事総長)と結婚したが後に離婚。現在は独身。同氏との間に1男(モザンビーク生まれ)がある。

▼1949年12月29日、ポルトガル領ティモール・ディリ生まれ(76歳)。父はポルトガル人デポルタード(追放者)で母はティモール人。カトリック教徒。1970年マナトゥト県ソイバダのコレジオ(キリスト教の高等教育機関)卒。83年(オランダ)ハーグ国際法アカデミーで学ぶ。84年(米オハイオ州)アンティオーク大学文学修士(平和研究)。2012年(日本)法政大学より名誉博士号を授与される。独立運動家：1970年、独立運動を支持したことで(植民地当局により)モザンビークに追放。72年(帰国後)ジャーナリスト。74年東ティモール独立革命戦線(FRETILIN：フレティリン)に参加(外交担当)。75年(インドネシアの武力介入直前)からフレティリン国連代表としてニューヨークに滞在。88年「マウベレ抵抗民族評議会(CNRM)」の設立に参画し海外代表(フレティリンを離脱)。98年(CNRMを改組した)「東ティモール民族抵抗評議会(CNRT)」の副議長。99年12月(東ティモールに)帰国。2000年国連東ティモール暫定行政機構(UNTAET)統治下の暫定政府で外相に就任。01年6月CNRT解散。02年5月20日(東ティモール独立日)(第1次憲政内閣)初代外相(兼国務相)。06年7月(第2次内閣)首相就任。07年5月9日の大統領決戦投票で当選、同20日第2代大統領に就任。12年3月17日大統領選第1回投票で落選(再選を果たせず)。22年「東ティモール再建国民会議(CNRT)」に入党、4月19日の大統領決戦投票で当選、同5月20日第5代大統領に就任(再登板：一現職)。

〔第９次憲政内閣閣僚〕

＊2023年7月1日発足

［略号］CNRT＝(与党第1党)東ティモール再建国民会議 PD＝(与党第2党)民主党

**■首相 Prime Minister**

**シャナナ・グスマン Kay Rala Xanana Gusmao**



東ティモール初代大統領で第3代首相。2023年7月から第7代首相(現職)を務める。与党第1党「東ティモール再建国民会議(CNRT)」の初代党首(一現職)。幼名はジョゼ・アレシャンドレ・グスマン(Jose Alexandre Gusmao)だが、70年代初めにジャーナリストとして活動した時の愛称「シャナナ」が現在では公的な氏名の一部となっている。

＊1970年代より東ティモールの独立運動に参加し、インドネシアにより逮捕され服役中だった1990年代を通じて反インドネシア・反スハルト政権の闘争を獄中から率い、東ティモール独立のシンボル的存在となった。独立に先立つ2002年4月に実施された大統領選挙では得票率82.7％の圧倒的勝利を修め、同5月20日の独立とともに初代大統領に就任した。

＊クリスティ・スウォード(Kirsty Sword)氏と2000年に再婚したが、15年に離婚し現在は独身。子供5人。

▼1946年6月20日、ポルトガル領ティモール・マナトゥト県生まれ(79歳)。ポルトガル人とティモール人の混血。カトリック教徒。ディリ郊外・ダレのイエズス会系高校を中退(16歳)。公務員として働きながら夜間学校で学ぶ。1971年ポルトガル陸軍での3年間の兵役修了。独立運動家：74年「東ティモールの声」紙記者。75年「東ティモール独立革命戦線(フレティリン：FRETILIN)」に参加。81年(フレティリンの軍事部門)「東ティモール民族解放軍(FALINTIL：ファリンティル)」司令官に就任(－2000年8月)。88年「マウベレ抵抗民族評議会(CNRM)」を結成し議長に就任。92年11月インドネシア治安当局に逮捕される。93年5月(ディリ地方裁判所)国家反逆罪などで終身刑の判決を受ける、8月(スハルト大統領の決定で)禁錮20年に減刑。98年(獄中で)CNRMを改組した「東ティモール民族抵抗評議会(CNRT)」議長に就任。99年9月7日(独立を決めた8月30日の住民投票を受け)釈放。99年10月、7年ぶりに東ティモール入り。2001年6月CNRT解散。2002年4月大統領選で圧勝、同5月20日(東ティモール独立)初代大統領に就任(－07年5月)。07年4月新党「東ティモール再建国民会議(CNRT)」結党、党首に就任(一現職)、同8月(第4次憲政内閣)第3代首相(－15年2月)、23年5月21日総選挙後の7月1日(第9次憲政内閣)第7代首相(再登板)(一現職)。

■副首相兼調整相(経済)兼観光・環境相
Deputy Prime Minister & Coordinating Minister of Economic Affairs & Minister of Tourism and Environment
フランシスコ・カルブアディ・ライ Francisco Kalbuadi Lay



2017年からCNRT事務局長を務めるベテラン政治家で実業家。(東ティモールの少数派民族である華人(中国系)の家系に属する。2023年7月から現在の公職(副首相兼経済担当調整相兼観光・環境相)に就任。2人の副首相のうちで筆頭格。東ティモール・オリンピック委員会会長を兼任し、スポーツ行政の専門家としても有名。愛称チコ(Chico)。
＊23歳の時にディリで活動していたインドネシア陸軍特殊部隊(Kopassus)に捕まり、後に同部隊のダディン・カルブアディ隊長(中将：Lt. Gen. Dading Kaubuadi)の養子となった(姓でカルブアディを名乗っている理由)。1988年から90年代末には、同隊長がオーナーである企業のマネジャーや「インドネシア全国青年委員会(KNPI)」東ティモール支部長、ディリ司教区が運営する慈善団体でベロ司教の補佐などを務めた。
▼1954年2月7日、ポルトガル領ティモール生まれ(71歳)。1980年(ジャカルタ)トリサクティ大学卒(観光学)、81年(オランダ)ライデン大学修士(広報学)。政治家：2001年東ティモール・オリンピック委員会事務局長(－06年)。02年国会議員(経済・財政委員長)。07年CNRT全国執行委員長。12年(第5次憲政内閣)観光相(－15年2月)。13年東ティモール・オリンピック委員会会長(－現職)。15年2月(第6次憲政内閣)観光・芸術・文化相(再任)。17年CNRT事務局長(－現職)、アジア・サッカー連盟(AFC)副会長(－22年)。2023年5月国会議員に再選(通算4期目)、7月1日(第9次憲政内閣)副首相兼調整相(経済)兼観光・環境相(－現職)。

■副首相兼調整相(農村開発)
Deputy Prime Minister & Coordinating Minister of Rural Development Affairs
マリアノ・サビノ・ロペス Mariano "Assanami" Sabino Lopes



与党第2党「民主党(PD)」の党首。地元メディアなどでは、独立運動時代の「戦士名」アサナミを採用し「マリアノ・アナサミ・サビノ」と表記されることも。
＊東ジャワ州マランの大学在学中から、「東ティモール民族抵抗学生評議会(RENETIL)」に参加し、東ティモール独立運動の活動家として知られた。1995年にジャカルタで発生した東ティモール人活動家による複数の大使館への侵入・占拠事件などを主導した。
▼1975年4月12日、ポルトガル領ティモール・ラウテム生まれ(50歳)。(インドネシア・マラン)ブラウィジャヤ大学卒。在学中からRENETILに参加(副事務局長)。(独立後の)2002年国会議員(－07年)。07年(第4次・第5次憲政内閣)農業・漁業相。15年(第6次憲政内閣)国務相兼鉱物資源相(－18年)。18年国会議員(2期目：－23年)。23年5月国会議員に3選、同7月1日(第9次憲政内閣)副首相兼調整相(農村開発)(－現職)。

■閣僚評議会議長担当相
Minister of the Presidency of the Council of Ministers
アジオ・ペレイラ Hermenegildo Augusto "Agio" Cabral Pereira Alves



(閣僚評議会担当国務長官も含めて)通算で4つの歴代内閣で、閣僚評議会の議長(首相)を補佐し、政策策定・実施・調整など内閣の業務遂行の要となる現職(閣僚評議会議長担当相)を務めている。諸外国の官房長官に相当し、政府の報道官も兼任する。公式文書などでも愛称を使った「アジオ・ペライラ」で知られている。CNRT幹部。
＊東ティモールがインドネシアの占領下にあった1975年から91年まではポルトガルのリスボンで、99年からはオーストラリアで過ごした。
▼1956年3月31日、ポルトガル領ティモール生まれ(69歳)。ポルトガルで音楽学(作曲法)を学ぶ。学士(環境生物学)、法学修士(犯罪学・刑事司法)。1991年(豪)人道団体「東ティモール救援協会」理事長。99年帰国。2000年国連東ティモール暫定行政機構(UNTAET)統治下で国家諮問委員会(NCC)予算・財政常任委員長。02年からグスマン初代大統領、ラモスホルタ第2代大統領の首席顧問。2007年(第4次憲政内閣)閣僚評議会担当国務長官。12年(第5次憲政内閣)閣僚評議会議長担当相。17年(第7次憲政内閣)副首相(国境線画定)。18年6月(第7次憲政内閣)閣僚評議会議長担当相(－20年5月)。23年7月1日(第9次憲政内閣)閣僚評議会議長担当相(－現職)。

■外務・協力相 Minister of Foreign Affairs and Cooperation
ベンディト・フレイタス Bendito dos Santos Freitas



第5次憲政内閣では教育相を務め、今次(第9次)内閣で現職(外務・協力相)に起用された。元駐中国大使。CNRT幹部。
▼1963年12月10日生まれ(62歳)。1993年(インドネシア・マラン)ウィディヤ・ササナ哲学神学大学卒(文学士)、2000年(英)ランカスター大学修士(国際関係論・戦略研究)。2002年UNESCO東ティモール委員長。07年(第4次憲政内閣)職業訓練・雇用担当国務長官。12年(第5次憲政内閣)教育相。15年駐中国大使(－20年)。23年7月1日(第9次憲政内閣)外務・協力相(－現職)。

■内相 Minister of the Interior
フランシスコ・ダ・コスタ・グテレス Francisco da Costa Guterres
オーストラリアの大学から政治学博士号を取得した国際法の専門家。1999年から2003年まで独立派と併合派(親インドネシア派)の和解を図る「受容真実和解委員会」の委員を務めた。CNRT党員。
＊現職(内相)での所管分野は、国内治安、国家警察、民間防衛、国境管理、移住・避難民政策など。
▼(豪クイーンズランド州)グリフィス大学政治学博士(民主主義・国際法)。1998年東ティモール国立大学(UNTL)講師・ティモール開発研究所(TIDS)研究員。ディリ工科大学(DIT)理事・評議員。2007年8月(第4次・第5次憲政内閣)安全保障担当国務長官(－15年2月)。23年7月1日(第9次憲政内閣)内相(－現職)。

■法相 Minister of Justice
セルジオ・オルナイ Sergio de Jesus Fernandes da Costa Hornai
2024年2月に前任者のアマンディオ・ベネビデス(Amandio de Sa Benevides)氏が59歳で急逝したことに伴い現職(法相)に任命された。弁護士。特定政党に所属していない。
▼1954年11月10日、ポルトガル領ティモール・ラウテム生まれ(71歳)。(インドネシア・バリ州)国民教育大学(UNDIKNAS)卒(法学士)。弁護士：1997年「東ティモール民族抵抗学生評議会(RENETIL)」バリ支部長(－99年)。2007年国家選挙委員会(CNE)委員。09年公選弁護人総長(－18年)。12年大統領諮問機関「国家評議会」委員。19年1月汚職防止委員会(CAC)委員(－23年)。24年2月15日(第9次憲政内閣)法相(－現職)。

■国家行政相 Minister of State Administration
トマス・カブラル Tomas do Rosario Cabral
公職では行政改革分野一筋に取り組んできた。CNRT党員。
▼1965年7月27日生まれ(60歳)。政治家：2012年(第5次憲政内閣)地方分権担当国務長官。2015年(第6次憲政内閣)副国家行政相(－17年)。18年国家行政省上級顧問(－20年)。22年5月(ラモス・ホルタ)大統領政務担当顧問。23年7月1日(第9次憲政内閣)国家行政相(－現職)。

(アジア・リンケージ　勝田 悟)